IPO　2015年の米国特許取得企業ランキングトップ300を公表

２０１６年７月１４日
JETRONY 知財部
今　村　、　丸　岡

知的財産権者協会（Intellectual Property Owners Association：IPO）は、2015年の米国特許取得企業ランキングトップ300社を発表した（1984年より当該統計を公表しており、今年で33回目）。

前年同様、第 1 位は IBM 社（7,440 件）、第 2 位は Samsung Electronics 社（5,059 件）、第 3 位は Canon 社（4,239 件）、第 4 位は Qualcomm 社（3,209 件）、第 5 位は Google 社（3,195 件）と続く。なお、IBM 社と Samsung Electronics 社の差は 2,381 件であるが、昨年より 161 件差が縮まっている。またトップ10の内訳をみると、米国系6社、日系3社、韓国系1社であり、概ね昨年と変わりない。

今年は取得件数が 1,000 件を超えた企業は 35 社。つまり米国実用特許発行総数 29 万 8,407 件のうち 15 万 173 件（50.3%）は上位 300 社に付与されていることになる。

データの収集に際しIPOは USPTO が提供するデータを活用している。また、企業側の申し出に基づき、子会社との連結ベースにするなどの調整を行っている。その結果、民間調査機関等[1]が公表している他社のランキングとは件数及び順位が異なる場合がある。

ランキング：
http://www.ipo.org/wp-content/uploads/2016/06/2015-Top-300-Patent-Owners.pdf
（取得件数順位および、アルファベット順のそれぞれでまとめられている）

以上

〇補足コメント

9位のマイクロソフトは、昨年と比較し-17.2%であった。新規権利取得のみならず、既存の権利も含めて選択と集中を進めている模様。具体的には、5月に中国の新興デバイスメーカー小美（シャオミ）に無線やクラウド関係の特許 1,500 件を売却したことなどが挙げられる。

[1] 2016 年 1 月 21 日　米国特許取得上位ランキング（民間調査機関調べ）